



2022年12月25日
教授代理 長谷川すみ枝

2022年スロバキアセミナーについて



11月21日夜、今回スロバキアへ行かれる予定の総務長先生のコロナ陽性判定が確認され、ステファン支部長(スロバキア)との調整が行われた結果、総務長先生から、「長谷川一人でいってきてくれ」と言われました。

中止はできないことの中で単身スロバキアへ行くことになりました。

21日・22日とほとんど眠れませんでした。「一人で行って」といわれ自分自身腹を括った瞬間から私個人は何処かに消えてしまい考える限りのことを一つひとつこなしていただくだけでそれからの一日半はめまぐるしく過ぎ総務長先生がスロバキアへ持っていくはずの荷物を、四人で行くはずだった内の一人で、先生のお孫さんに届けてもらったりと段取りに終わられました。

23日午後4時半、雨が激しい中二つの荷物を持ち家を出ました。

すでに自分の荷物は成田空港へ送ってあったため、空港で荷物の入れ替えをする必要があり夜10時30発でしたが早めの出発を致しました。

成田空港では、先に送ってあった自分の荷物から機内預け30キロにする為お土産を含む必要最低限のもの以外を自宅に送り返す為荷造りました。早めのチェックインをしゲートに向かいましたが、はじめてきた空港の様に感じました。



飛行機に搭乗しましたが丁度カタールワールドカップが開催中でほぼ満席でした。

機内では12時間のフライト中眠ることができませんでした。ドバイに到着し乗継便のゲートに行くまでエレベーターに乗ったりエスカレーターに乗ったりとお店を見る余裕もありませんでした。マスクをしている人はほとんど無く、ただあちらこちらで咳をする人などがいました。

現地時間24日午後1時過ぎにVienna(ウイーン)国際空港に到着いたしました。入国審査も簡単で、出口を出るとそこに花束を持ったステファンが笑顔で待っていてくれました。空港から45分程のご自宅へ向かい泊まらせていただくゲストルームへ荷物を置きステファンの家と30畳程の道場を案内してもらいました。居間から見えるお庭も素敵で、日本に関する置物や額がシックに飾られていました。

翌25日午前9時より、ステファン支部長の「ブラチスラヴァ私立人物・資産保護専門高等学校」に於いて当学校の生徒達が練習している「大東流合気柔術・合気道・柔道・ムエタイ・MMA(総合格闘技の護身術の技)」を、4学年12クラスの生徒による発表会が行われました。現在の在籍者は310名、9月の新学期応募93名に対し倍以上の応募希望があったということです。

当日は駐スロバキア日本特命全権大使の中川大使、スロバキアオリンピック・スポーツ委員会会長ブラチスラヴァ警視庁庁長、スロバキア共和国軍司令部人事部と多くのVIPの方々が参列されました。

そうそうたるご来賓は学生たちのモチベーションアップにもつながり、なお一層の励みになっているように思われました。また、発表会で一位評価クラスに「近藤勝



之総務長杯」二位評価クラスに「長谷川すみ枝教授代理杯」が贈られ、28日(月)の私との特別稽古に参加できるプランができておりました。ステファン支部長の学生達に対する思いや、私どもに対する心配りには心から感銘を受けました。

26日(土)・27日(日)は、3年ぶりの大東流合気柔術クローズセミナーが開かれました。クローズセミナーはヨーロッパを中心に遠くはアメリカを含め13ヵ国50人余りの門下生が集まり久々の稽古ができました。

26日初日は、最初一時間は全員で組み稽古をし、続いて昇段審査グループとその他に分け稽古を実施初段、二段のテストグループにはそれぞれ四段をリーダーに付け重点稽古を実施いたしました。

二日間という短い時間の中で昇段者の稽古そしてその他の門下生の稽古内容も少しでも充実させたものにするよう最大限気を配り、また全体を見ながら個々に声をかけチェックを致しました。途中ステファン支部長の案で療養中の総務長先生とビデオをつなぎ皆なが総務長先生と話をし、全体の稽古も見て頂きました。またこの夜に「ウエルカム・さよならパーティー」が行われ伝統のダンスなどもあり和やかな時間となりました。部屋に帰ったのが午後11時半過ぎ、部屋には「武道パスポート」が待っていました。

武道パスに今回の日付と名前を記入し場所の名前はステファン支部長の奥様が「スタンプを押すから大丈夫！」と手を差し伸べてくださいました。ステファン支部長の奥様には本当に暖かく公私共にお世話になりました。

翌27日(日)も引続き稽古を行い、午後には昇段審査を実施、熱のあるなか日本時間深夜2時にもかかわらずビデオにて総務長先生の立会を頂き緊張感のある審査となりました。初段7名、二段3名、三段1名が合格致しました。



また100本受身も行い、初段全員クリアしました。

28日(月)は25日に行われた発表会の上位2クラス(3年生・4年生)と特別稽古を行いました。全員入学以来練習をしてきているので大変呑み込みが早く、また言葉が通じない中、工夫をしながらも遥かに背の高い生徒たちとのあっという間の稽古時間が過ぎていました。

29日はステファンの奥様とシェーンブルン宮殿を観光し、夜は総務長先生の知人にご招待を受けたオペラにステファンと二人初めて行ってきました。演目は「若きウエルテルの悩み」でした。機会があればまた見に行きたいと思います。

28日と30日の夜はクリスマスマーケットが開かれている町へ連れて行ってもらいました。30日夜は、ステファンの一番弟子のマーティンが案内してくれました。

12月1日、各国門下生から先生方へのお土産40キロ含め65キロの荷物と共に日本へ帰国します。ステファン支部長と奥様が空港まで送ってくださり、お別れの昼食は空港の中にレストランが無くご一緒できませんでしたが、チェックインから旅行カバンが成田で受け取れることまで確認をしてくださり、ゲートで見えなくなるまで手を振ってくださっていました。出国の審査が終わった頃にはステファン支部長からの確認のメールが届いていました。

Viennaからドバイへ。ドバイ国際空港では移動の電車(?)、エレベーター、エスカレーターなど乗り継いで永遠と思われる道を日本へ続くゲートを目指しひたすら歩きました。帰りの飛行機もほとんど眠れず、ジーンとする足を抱え2日午後6時に日本へ到着いたしました。事前に接種証明書やMySOS、Visit Japan Webなどを必死で登録しておいたおかげで比較的スムーズに入国することができました。



急遽単身スロバキアに行くことになりましたが、先生方に影になり日向になりサポートを頂きましたステファン支部長をはじめ高段者の門下生の協力もあり2日間のセミナーを終えることができました。皆なが総務長先生にお会いしたかった気持ちが多く伝わって来たセミナーでした。

ありがとうございました。